

犯罪状況、詳細確認

県警 ネットの情報地図一新

ひったくり、空き巣など犯罪の発生状況や不審者情報をインターネットで発信、注意喚起する県警の「犯罪発生・不審者情報マップ」が一新された。地図を動かして見たい場所を表示したり、拡大できるようにリニューアル。これまで以上に身近な場所での犯罪状況を把握しやすくなった。



どこで、どんな犯罪が起きたのか、一目で分かるようリニューアルした県警の「犯罪発生・不審者情報マップ」

によると、元になる地図は平成23年に県警が作成。以降は、一般市民も県警のホームページで閲覧できるようにした。

ただ、これまで地図の拡大や移動はできず、1枚の地図に1種類の犯罪や不審者情報しか表示できなかったため、今回、あらためて「利用者が犯罪の発生状況を一目で確認できるよう工夫した」と県警の担当者。犯罪や不審者の発生情報を1枚の図上に示

し、見たい場所の移動や拡大もできるようにした。また、空き巣や車上狙い、ひったくりに加え、オートバイや自転車盗難の情報も新たに追加。不審者情報については、被害者を子どもと女性に分けて地図に示すようにした。さらに、交通事故の

発生情報を新たに地図を作成し「交通事故発生状況マップ」として追加。道路地図内に軽傷、重傷、死亡事故の発生場所が示されており、交通事故の多発箇所や発生の時間帯などが確認できる。

地図には平成23年1月以降（一部除く）の情報が登録されている。県警のホームページ（<http://www.police.pref.nara.jp/>）内の別のウインドウから閲覧できる。

県警犯罪抑止対策室の羽根康英室長は「リニューアルされた地図と防犯メールの情報などを多角的に活用して、犯罪抑止や事故防止に役立ててもらえれば」と話している。